

(様式第2号)

協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。

提案団体名	団体名	くらしのたね (担当者 青江 整一)			
	合同提案団体 (※協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	NPO 法人岡山市子どもセンター NPO 法人みんなの集落研究所 岡山の自然を守る会 問屋町テナント会			
協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	庭園都市推進課		電話	086-803-1395
	担当 2名	職名	係長	職名	技師
		氏名	宮内 和志	氏名	井上 知美
提案事業の名称	岡山操車場跡地 都市の森の集会				
提案事業の目的	ニーズ調査事業の結果より ・「今から活動に参加したい」市民に向けた集会の開催 ・「今後も情報を発信してほしい」市民に向けた進捗の報告				
解決をはかりたい課題 の緊急性・重要性等(市民 ニーズ含む) ※ニーズ把握等で行った 調査資料等がある場合は 添付してください。	1. 解決をはかりたい課題と現状 ①岡山市の公園づくりにおける市民の意欲と参加機会のミスマッチ ・情報が入手できるタイミングや媒体が限られており、市民に参加機会が与えられていない。 ・ワークショップやパブリックコメントの進捗がなく、関われるときには決定されたもので主体的でない。 ②住民の意思決定や合意形成に時間がかかる ・公園整備のプロセスにおいて、周辺に在住する個人、会社、学校などをはじめとした多様な利害関係者のニーズ、関心、利害を調整するためには合意形成の効率化を助けるツールやノウハウが求められる。一方で公共の所有物であることが理由で無関心となる住民も多いことから、様々な興味・関心を公園の機能と結び付け、多くの市民に参加機会を提示していく必要がある。 2. 市民ニーズ ニーズ調査事業では、「知らなかった人にまずは知ってもらうこと」を目的に調査を行い、次のフェーズとなる本事業では「(公園整備に)今から主体的に関わりたい人が関わることを目指す」が重要であると考えます。 別紙参照「ニーズ調査事業報告書」 ニーズ調査で、過去のワークショップ等で意見の多かった項目について調査を行った。 ・自然と触れ合える公園(今から活動に参加したい: 120世帯) ・野外で飲食が楽しめる公園(今から活動に参加したい: 140世帯) ・健康プログラムがある公園(今から活動に参加したい: 120世帯) ・定期的なイベントがある公園(今から活動に参加したい: 125世帯) ・防災拠点として機能する公園(今から活動に参加したい: 150世帯) ・教育と連携した公園(今から活動に参加したい: 92世帯)				

<p>協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果 提案団体はこれまでも公園整備への関心の継続を目的としたイベントを開催しており、公園に付随する機能などの専門性を持つ組織とのネットワークを有している。また、平成 28 年度のニーズ調査事業を通じて操車場跡地周辺の町内会、学校、公民館などとの信頼関係を構築しており、継続的かつ主体的な協力を得ることができる。 岡山市は公園整備、パークマネジメントのプロセスを検討・決定する当事者であり、本事業で得られた成果を今後の公園整備、パークマネジメントのプロセスに生かしていくことが可能である。また、社会的な信頼や公正性への配慮は本事業に欠かすことのできない要素であり、運営全般での助言や協力が期待される。 本事業は市民参加による公園の利活用の専門性（または専門性を補完するネットワーク）を持つ提案団体と市民参加の機会をつくる行政が協働することで一体的な情報と機会の提供が可能になるものである。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の企画とマネジメント ・専門家及び専門性を持つ組織との交渉 <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報の提供 ・今後の公園づくりへの成果の反映 <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体者（プレーヤー）の呼びかけ ・合意形成を基軸としたアイデアのブラッシュアップ ・パークマネジメントやESD に対する理解促進 <p>(集会の参加者：50 名以上)</p>
---	--

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	岡山操車場跡地 都市の森の集会
--------------	-----------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	25,400	
	合同提案団体 負担金等	0	NPO 法人岡山市子どもセンター NPO 法人みんなの集落研究所 岡山の自然を守る会 問屋町テナント会
自己資金等合計 (a)		25,400	
事業収入見込	参加費 500 円 * 50 名	25,000	
事業収入見込合計 (b)		25,000	
岡山市補助金申請額 (c)		200,000	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		250,400	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	報償費	30,000	専門家招聘 (30,000 円*1 回) 都市の森の集会
	旅費交通費	40,000	専門家招聘 (40,000 円*1 回) 都市の森の集会
	印刷費	60,000	回覧板 (3 円*20,000 部)
	消耗品費	9,000	用紙代等
	広告宣伝費	0	市政だより等 (公共メディア利用)
	人件費	86,400	配布作業、事務作業、報告書作成 (800 円*108 時間)
	食糧費	25,000	集会のお茶菓子等 (500 円*50 人設定)
	使用料・賃借料	0	会場の使用料等 (公共スペース利用)
事業実施経費合計 (e)		250,400	
管理運営経費			
管理運営費合計 (f)		0	
総事業費 (g) = (e) + (f)		250,400	※収入合計 (d) と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠 (これまでの実績や独自の単価表) を添付すること
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること